

2019 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [大阪成蹊女子高等学校] 担当教諭名 [奥村 和気・川本 明香・上坂 瑞歩] (同好会 8名)
 相手国・地域 [モーリタニア]
 海外学校名 [SOS Urgence] 担当教諭名 [Anne Amadou]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	クラブ活動	ユネスコサークルという名称にて放課後実施	30

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	協力は強力
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	何かを楽しむことや美味しいものを求めることは世界共通! 「一人」ではできなかったけど、一つの目的に向け、「みんな」だからできた。協力は協力です!



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか?

成 果	課 題
お互いの国について知ることが出来た。世界と繋がる体験が出来た。自分の意見を言葉にし、相手に伝えるように英語や簡単なイラストを使って表せるようになった。	相手国の情勢もあり、やりとりできる時間が少なく、話し合いが足りなかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか?

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
名前も知らない、日本とは全然違う遠い国だという認識だったが、モーリタニアの文化や日本とのつながりを知り、世界の人たちを近くに感じることが出来た。世界とつながる体験が出来た。モーリタニアだけでなくあらゆる国には文化や歴史がありその中に暮らしがあるということを改めて考えることができた。	生徒と一緒に、多様な価値観や文化への理解を深めることが出来た。生徒たちと一緒に学ぶことができた。教員にとっても、国によって取り巻く状況や環境はさまざまであるということを感じることが出来た。あらゆる教育活動の中に ESD の観点を取り込むことは必須だと思った。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	7月	ビデオメッセージを作成・送信	英語で自己紹介をして、また相手校の自己紹介を動画を見て、どのような生徒たちと壁画を描いていくのか知ることが出来たので、モチベーションも上がったようであった。	クラブ 活動
共有 テーマ学習	9月	お互いの国の文化を紹介しあった。生徒が個々に質問を作成し、それに答えてもらった。	英語で自己紹介をして、また相手校の自己紹介を動画を見て、どのような生徒たちと壁画を描いていくのか知ることが出来たので、モチベーションも上がったようであった。	クラブ 活動
融合 メッセージ作成	11月	iPad やメッセージボードを用いて写真やVTRという形で発信していた。	返信をいつも心待ちにしていた。	クラブ 活動
創造 壁画制作	12月 1月	伝えたい日本の踊りや食文化などについて話し合い壁画を作成した。	相手校の文化を紹介してもらった上で、さらに知りたいことをまとめ質問した。返信をいつも心待ちにしていた。	冬季休業 中に作成
評価 振り返り 自己評価	—	略	自分たちの描いたものが他者と合わせる楽しさもあるが、それとは逆に自分の思い通りにならない難しさが、つきまとう。短期間で他者とのづくりをするなら参加した生徒のそれぞれ作品を引き立てることができるようにどうしても教員がある程度ディレクションしなくてはならない。共同で絵を描くというのは、常にその違和感がつきまどってしまう。	未実施

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてついった 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	4	日本の文化を絵に表現する際に、自国の文化についてよく考えられていた。
異文化を理解する力	5	相手国の現状を受け入れようとする姿勢が見られた。プログラムを通して生徒同士の会話の中でも随所に相手国の文化を理解しようという言葉が聞かれた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	4	iPad を用いて行っていたが、もっと生徒に自由度を持って行わせられるとよかった。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	4	活動メンバーが他学年・他コースの生徒で構成されていたが非常によく協力できていた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	2	相手国の現状を受け入れようとする姿勢が見られた。そういう意味では、なんとかできる問題とどうすることもできない問題を客観的に捉えられていたということなのかもしれない。
主体的に考え行動する力	4	プログラムを通して、常に積極的に意見を出していた。絵のデザインや自己紹介の文言も工夫できていた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	活動メンバーが他学年・他コースの生徒で構成されていたが非常によく協力できていた。
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	評価が難しいが、メッセージも絵も自分たちで考え、表現していた。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	4	略